

# 四国高等学校弓道選手権大会開催にあたっての

## 安全対策マニュアル

### 1 大会を開催するにあたって

大会の開催に際しては、選手を中心とした関係者全員の安全・安心を最優先し、実施の可否等について慎重に判断し、実施する場合は十分な感染防止対策を行うこととする。

- (1) 安全対策ガイドラインに則った大会会場の適切な感染予防対策等の実施
- (2) 密閉空間・密集場所・密接場面等の感染リスクが高い状況の回避
- (3) 感染が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力

以上の対応が整わない場合は、大会を中止する必要があると考える。また、こうした対策を行っていても、その時点の全国や県内の感染状況に応じて、大会の急な中止の対応をお願いすることがある。

### 2 大会中の具体的な感染防止対策

- (1) 基本的な感染症対策

ア 必ず検温をして競技会場に入場し、会場では的前および巻藁で引くとき以外は必ずマスクを着用する。手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策を徹底する。

イ 会場出入口には消毒薬を設置し、トイレに石鹸等を準備しているので、適宜手洗いや消毒をすること。

ウ 密閉空間を避けるため、会場の窓を開放し、常時換気を行う。

エ 密集場所を避けるため、人が集まる観覧席、控え所等では、適時、指導や誘導を行う。更衣室の密を避けるため、できるだけ袴に着替えた状態で会場に来るようにする。

オ 密接場면을避けるため、握手やハイタッチ、肩を組むなどの身体接触を避け、近距離での会話や発声はしないようさせるとともに、応援は間隔をとって拍手のみで行う（前射場の応援は観客席、後射場の応援は矢取廊下で密集はさけて応援する）。

カ 引率者は、試合前に選手の健康状況（検温状況含む）を確認し、体調不良の選手がいた場合には、「(2) 当日、生徒に発熱等の風邪症状がみられる場合の対応」に従って対応する。

キ 競技中の水分補給に関してはチーム共用を避け、個人のものを使用する。

ク 共有物の適正な管理又は消毒を徹底する。

ケ 会場内への出入りは試合当日に出場する選手、顧問、事前申請済みの引率教員・コーチ等、役員、審判のみとし、競技終了後、生徒はすみやかに退出し帰宅させる（無観客）。

コ 開会式は各校代表者、閉会式は入賞者のみが参加し、間隔を広くとる。

サ バスや公共交通機関を使用して移動する際は、必ずマスクを着用するとともに、可能な限り換気に努めること。また、密集空間を避けるため、会場への移動はバスの台数を増やす等の対応を検討すること。

シ 大会に参加した者の中に感染者が出た場合には、その他の参加者に対して連絡をとり、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡をとる。

ス 大会に参加した個人は保健所などの聞き取りに協力し、また濃厚接触者となった場合には、自宅待機の要請が行われる可能性がある。

セ 飲食については、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話はしない。できるだけ公園等も利用すること。

ソ チェック様式の提出について

① 参加校の出場する選手、顧問、引率者、コーチ等、補助役員生徒(以下「大会参加者」という)は、体温・体調チェック記録票【様式1】を各競技大会2週間前から大会終了後2週間までチェックし個人で保管する。参加校の代表者は、チーム関係者の体温・体調チェック記録票【様式1】を確認し、健康チェックシート提出用紙【様式2】を大会期間中毎日受付時に実施専門部へ提出すること。万が一感染者が発生した場合に備え、【様式1】について、大会終了後1ヶ月間は保存しておくこと。

② 大会役員等は体温・体調チェック記録票【様式1】を大会2週間前から大会終了後2週間までチェックし、1ヶ月間保管しておくことまた、チェック期間に体調不良等が生じた場合には競技担当者へ連絡を取り参加の可否について確認すること。

③ 取材を希望する、団体は【様式3】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈取材団体等〉をダウンロードし、各競技大会2週間前から大会終了後2週間までチェックすること。大会当日は各競技受付へ【様式3】提示し、参加者名簿へ必要事項を記入したのち入場すること。

タ 公式練習について

射場に入る前にマスクを外してから入場してかまわない。ただし、マスクを外した状態で会話はしない。射場内では全員、執り弓の姿勢で順番を待つ（距離をとるため）。公式練習中の矢取りは参加校で協力して行う。矢取りをする前には必ず手を消毒する。選手はマスクを外したら声を出せないで顧問等が的前に矢取りの合図をし、矢取を行う。

① 赤旗がでる。

- ② 顧問等が「次の打起しをおまちください」と合図。
- ③ 引いていないのを確認して「矢取りお願いします」と合図。
- ④ 矢取生徒は誰も引いていないのを目で確認した後チャイムをならして矢をとる。

#### チ 招集について

- ① 必ずマスクをつけた状態で召集場所に来る。
- ② 第3控で弓具を置いたあと椅子に座る。
- ③ マスクをつけた状態で選手確認を行う。
- ④ 弓具点検の間に、各自マスクを外して待つ（マスクをつけたまま試合を行うことも可）。

#### (2) 当日、生徒に発熱等の風邪の症状がみられる場合の対応

ア 発熱等の症状がみられる場合、大会出場は認めない。

イ 当日、急に症状が出た場合は、保護者及び各学校の管理職に連絡し帰宅させる。

ウ 体調不良の選手の健康状況については、引率者から専門委員長に報告し、専門委員長は大会運営に支障がある場合には、その結果を県高体連事務局および高知県弓道連盟に報告する。

エ 引率者は、他の選手等の健康観察を徹底する。

※ その後、コロナウイルスに感染したことが確認された場合は各学校や行政機関指示に従い、その経過等については、県高体連事務局及び高知県弓道連盟に報告すること。県高体連事務局と高知県弓道連盟と協議の上、その後の大会運営について中止することがある。

### 3 大会参加申込について

(1) 顧問は必ず、選手及び保護者から大会参加の承諾を取り、校長の責任のもとに申し込みを行うこと。

(2) 大会参加を強要することがないよう配慮すること。